

主任者 コーナー

平成24年度放射線安全取扱部会年次大会 (第53回放射線管理研修会)のお知らせ(2)

平成24年度放射線安全取扱部会年次大会実行委員会

平成24年度放射線安全取扱部会年次大会は、中国・四国支部が担当し準備を進めています。中国・四国支部ではこれまで岡山市、広島市で開催してきましたが、今回初めて四国の松山市で開催します。23年度は東北支部が担当されましたが、福島第一原子力発電所事故への対応で大変な時に準備をされ、参加者も多く成功裏に終わりました。順番ではありますが、今回は事故とは直接には関係のない中国・四国支部の担当となります。山形市で行われた、前大会のテンションを本大会までどのように保つか、苦慮するところです。詳細は次回以降に譲りますが、以下に概要についてお知らせします。

年次大会概要

- 開催日：平成24年11月8日(木)、9日(金)
- 会場：松山市コミュニティセンター
松山市湊町7-5
(JR松山駅より徒歩10分)

プログラム概要

1) 特別講演

特別講演は例年どおり、文部科学省原子力安全課放射線規制室にお願いする予定です。

2) シンポジウム、講演会

放射線管理に携わっている我々が直面している最新の話題を取り上げる予定です。また、福島第一原子力発電所の事故を受けて、忙しい方も多いと思います。このことは山形市での大会

の主要なテーマでした。今回のシンポジウムでもこのテーマから離れることはできません。その中で私たちは特に“復興”をキーワードとして検討したいと考えています。また、事故対応の一環として、一般の方への放射線に関する説明で忙しい方もおられます。前大会でのシンポジウムでは放射線業務従事者に対する教育訓練も取り上げられましたが、本大会では一般の方への教育も重要なテーマと考えております。このように放射線事業所の安全管理にとどまらず、事業所の外での専門家としての対応に関係した内容を盛り込むべく、鋭意検討しております。

3) ポスター発表

分科会活動報告はポスター発表でお願いする予定です。

4) 機器展示、書籍コーナー

5) 交流会、相談コーナー、他

ポスター発表の募集

日頃、放射線管理等の実務を担当されている方の情報交換の場として、今回もポスター発表を募集します。放射線施設での施設維持管理の新しいアイデア、放射線利用、事業所紹介、福島支援活動や支部活動など多くの方の参加を期待しています。なお、申込みは、表題、発表責任者氏名・連絡先を明記の上、期限までに事務局あてにお願いします。

○申込期限：8月15日(水)

主任者 コーナー

○要旨提出期限：9月3日(月)

【連絡先】

○放射線安全取扱部会事務局
日本アイソトープ協会学術・出版課
☎113-8941 東京都文京区本駒込2-28-45
☎03-5395-8081 FAX03-5395-8053
E-mail gakujuitsu@jrias.or.jp

ようこそ松山市へ

松山市へは、札幌、東京、名古屋、大阪、福岡、鹿児島から航空機を利用できます。もちろん、各地からJR、バス、船も利用できます。会場はJR松山駅の近くに位置しており、松山市内にはビジネスホテルが多数あります。

中国・四国支部が年次大会を引き受けるに当たり、福島第一原子力発電所事故の影響とその後の支援に関して、東北支部と中国・四国支部との温度差をどのように埋めるかは大変気になっている点です。全国には復興支援に向けてお忙しい人も多いと思います。体調を崩されている方もおられるかもしれません。松山市で開催するのは、もちろん昼間は会場で情報収集し、議論していただきますが、夜や大会終了後は穏やかな瀬戸内の秋も楽しんでいただき、休養をとっていただきたいという思いがあります。松山市内での移動は路面電車の利用が便利で、乗車すると時の流れもゆっくりになります。そして様々な観光地にたどり着けます。道後温泉も

近く、日頃の疲れをとるチャンスです。また、瀬戸内海も絶景で、ターナーの画にありそうな風景に出会えるかもしれません。

最後に、平成23年度年次大会の終わりに次回のご案内をしましたが、そこで使用したスライドを紹介して終わります。子規の俳句と、それを真似た24年度実行委員会の俳句を紹介しました。

秋山真之ノ英国ニユクラ送ル

暑い日は思い出せよふじの山

正岡子規

子規と真之は松山時代からの友人で、東京に出ても交流がありました。しかしながら、状況は両者で異なります。真之は国費で英国留学するのに対し、子規は病で床に伏してしまいます。これはそのような状況で子規が詠んだ俳句です。そして、それを真似た24年度実行委員会の俳句は次の通りです。

安全取扱部会員ノ各地デノ活躍ニ送ル

来年は思い出せよ伊予の国

24年度実行委員

毎日お忙しいでしょうが、苦しいときは今度の年次大会を思い浮かべてください。ご参加をお待ちしています。そして、松山市を楽しんでください。